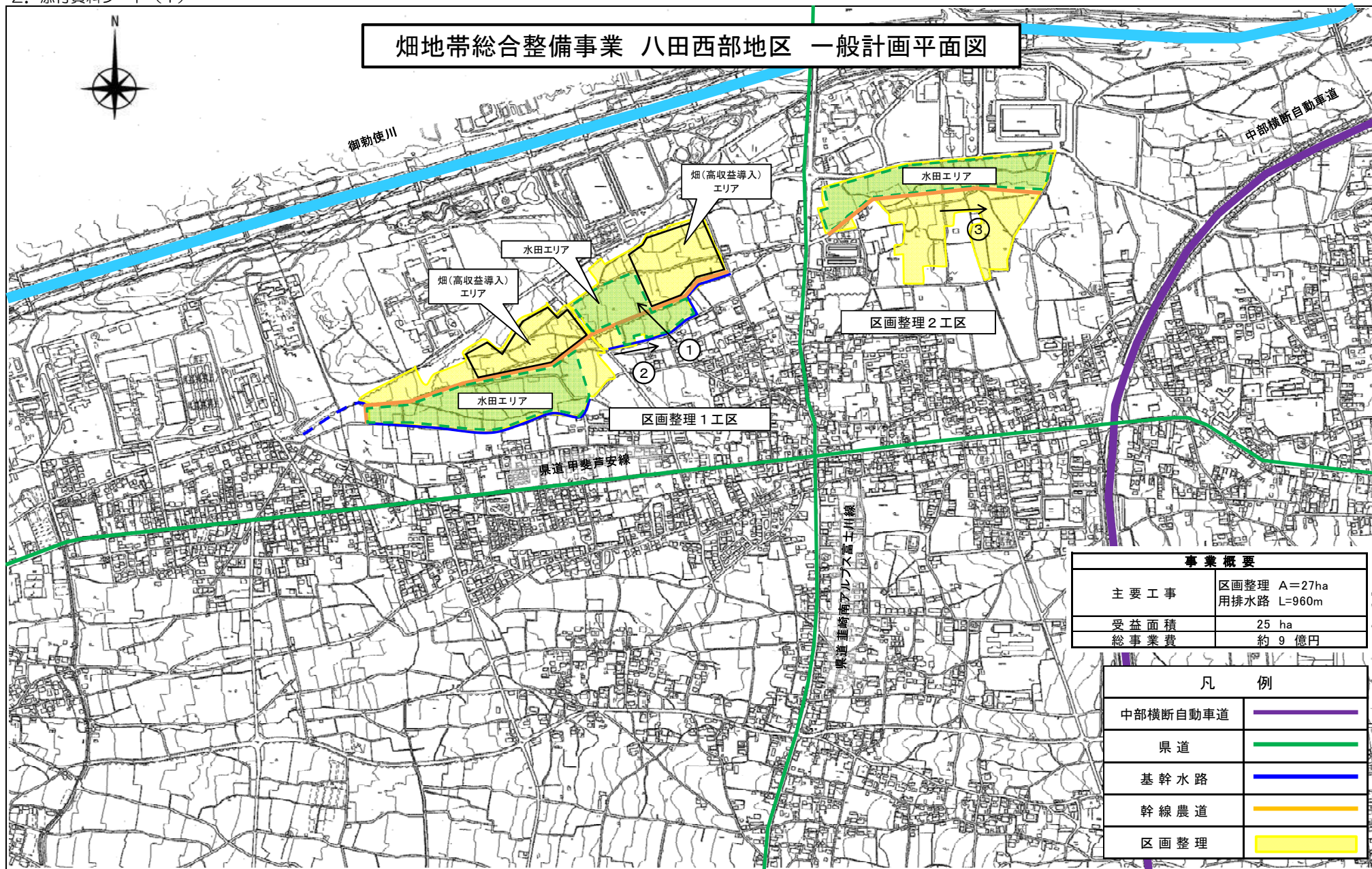


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	畑地帯総合整備事業	<b>事業箇所</b>	南アルプス市六科	<b>地区名</b>	はつた <sup>まいた</sup> 西部	<b>事業主体</b>	山梨県																																							
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																										
<b>①課題・背景</b>				<b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b>																																										
<p>本地区は、南アルプス市の北部に位置する旧八田村に広がる水田地帯であり、米づくりが盛んな地域である。また、周辺は、サクランボ、ブドウ、カキ等の果樹も栽培されており、果樹への転換も促進されている地域である。</p> <p>一方、営農者の高齢化が進み、点在した小規模農地における管理は体力的に困難となってきたり、また、相続等により地区外や市外に所有者が増え、遊休農地や耕作放棄の増加が懸念されている。</p> <p>そのため、区画整理等の基盤整備の実施により、農地の集約化や耕作放棄地解消を図り、優良農地を確保し、担い手の意欲向上及び高収益作物への転換や、新たな担い手とのマッチングも進め、地域農業のさらなる展開を図っていくものである。</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>																																										
				<b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b>				<p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・本事業は、区画整理を行い農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものである。また、「土地改良法施行令」第50条第4項の県営事業で申請すべき事業要件にも合致している。このため県が主体となって行うべきである。</p>																																						
<b>②整備目標・効果</b>				<b>③経済妥当性</b>																																										
<p>□主要目標 ○農業生産力の向上</p> <p>・農業所得の増加額 1,820千円/ha ≥ 810千円/ha ※ (生産基盤整備により農業所得の増加が図られる。)</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <p>・施設老朽度 (使用年数50年) ÷ (耐用年数30年) = 1.66 ≥ 1.00 ※</p> <p>・排水能力向上率 (計画排水能力0.38m³/s) ÷ (現況排水能力0.32m³/s) = 1.20 ≥ 1.0 ※</p> <p>□副次効果 ○果樹園景観の保全</p>				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>900 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2 ~ R7</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>873 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1,271 百万円</td> </tr> <tr> <td>事業費用</td> <td>669 百万円</td> <td>作物生産効果</td> <td colspan="2">819 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費用</td> <td>204 百万円</td> <td>営農経費節減効果</td> <td colspan="2">39 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>品質向上効果</td> <td colspan="2">436 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>維持管理費節減効果</td> <td colspan="2">-23 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>				総事業費	900 百万円	工期	R2 ~ R7	基準年	R1	経済効率性	費用	873 百万円	便益	1,271 百万円		事業費用	669 百万円	作物生産効果	819 百万円		その他費用	204 百万円	営農経費節減効果	39 百万円				品質向上効果	436 百万円					維持管理費節減効果	-23 百万円			B/C	1.5			
				総事業費	900 百万円	工期	R2 ~ R7	基準年	R1																																					
経済効率性	費用	873 百万円	便益	1,271 百万円																																										
	事業費用	669 百万円	作物生産効果	819 百万円																																										
	その他費用	204 百万円	営農経費節減効果	39 百万円																																										
			品質向上効果	436 百万円																																										
			維持管理費節減効果	-23 百万円																																										
	B/C	1.5																																												
<b>(2) 整備内容</b>				<b>④事業実施・規模の妥当性</b>																																										
<p>①整備内容 区画整理 A=27ha 用排水路L=960m</p> <p>②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和7年度</p> <p>④総事業費 約900百万円</p> <p>(国費450百万円(5.0/10)県費225百万円(2.5/10)市費等225百万円(2.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>測量・設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>区画整理 用排水路</td> <td>200 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>区画整理 用排水路</td> <td>200 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>区画整理</td> <td>200 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>区画整理</td> <td>200 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>区画整理</td> <td>70 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <p>・該当なし</p>				令和2年度	測量・設計	30 百万円	令和3年度	区画整理 用排水路	200 百万円	令和4年度	区画整理 用排水路	200 百万円	令和5年度	区画整理	200 百万円	令和6年度	区画整理	200 百万円	令和7年度	区画整理	70 百万円	<p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p>																								
令和2年度	測量・設計	30 百万円																																												
令和3年度	区画整理 用排水路	200 百万円																																												
令和4年度	区画整理 用排水路	200 百万円																																												
令和5年度	区画整理	200 百万円																																												
令和6年度	区画整理	200 百万円																																												
令和7年度	区画整理	70 百万円																																												
<b>(2) 整備内容</b>				<b>⑤整備手法の有効性</b>																																										
				<p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、畑地帯総合整備事業で対応することが妥当である。</p>																																										
<b>(2) 整備内容</b>				<b>⑥環境負荷等への配慮</b>																																										
				<p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・工事の際は、土羽構造を基本とすることで、周辺景観との調和を図る。</p>																																										
<b>(2) 整備内容</b>				<b>⑦事業計画の熟度</b>																																										
				<p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・早期着工の要望あり</p>																																										
				<b>総合評価</b>																																										
				<b>[貢献度ランク：a]</b>																																										
<b>(4) 事業位置図等</b>																																														



## 2. 添付資料シート（2）

老朽化した水路

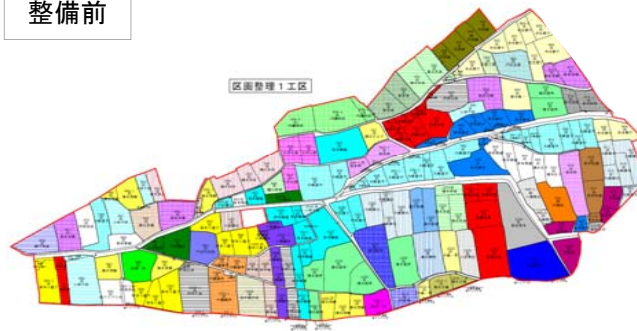


② 補修など維持管理に苦慮している。

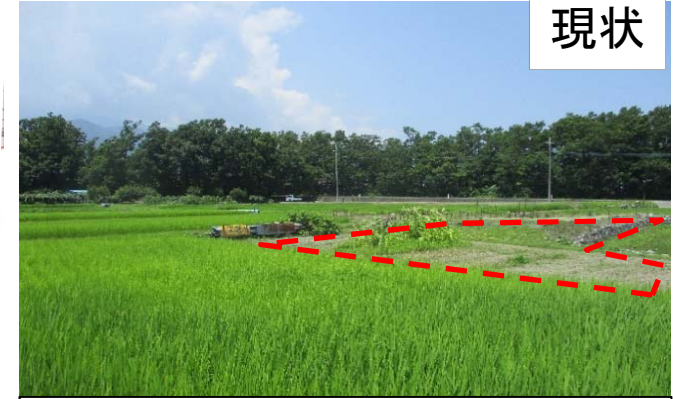


③ 農作業車のすれ違いができない

整備前



現状

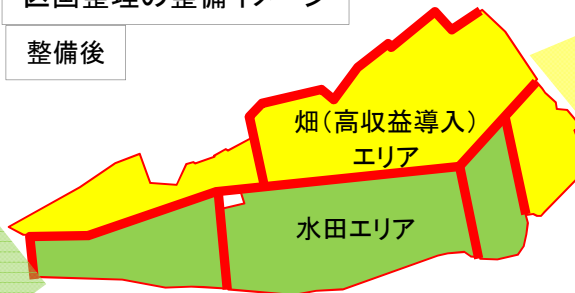


① 現況状況(不整形・耕作道なし)

- ・「不整形」で「狭小」な農地を大区画化！
- ・道路・水路の整備を行い農作業の効率化や維持管理軽減！
- ・高収益作物導入で多様な担い手への集積や儲かる農業の実践！

区画整理の整備イメージ

整備後



凡 例	
区画整理範囲	
水田エリア	
畑エリア (高収益作物の導入)	

整備後



高収益作物 導入イメージ  
新たな担い手の参入による、ぶどうなどの高収益作物



水田エリアイメージ

整備済の水田では、大型機械の導入が可能となり、営農労力の軽減が図られる。